

## 三菱商事株式会社及び Digital Realty Trust Inc.が出資する MC デジタル・リアルティ株式会社が開発したデータセンターに係る「グリーン私募債」を成約

株式会社三菱UFJ銀行（取締役頭取執行役員 半沢 淳一）は、三菱商事株式会社（代表取締役社長 中西 勝也）及び Digital Realty Trust Inc.（最高経営責任者 アンドリュー・パワー）の合弁会社である MC デジタル・リアルティ株式会社（代表取締役社長 手塚 万峰、以下、「MCDR」）が開発した大阪府箕面市のデータセンター「KIX12」に係るグリーン私募債を引き受け致しました。MCDR が運営するデータセンターにおいて、グリーン私募債による資金調達は本件が初となります。

三菱商事株式会社は、「脱炭素社会への貢献」を対処・挑戦すべき重要な経営課題の一つとして定めております。エネルギー需要の充足という使命を果たしながら、SDGs やパリ協定で示された国際的な目標達成への貢献をめざし、グループ各社との連携の上、政府・企業・業界団体等の幅広いステークホルダーとの協働を通して、これに取り組んでいます。

Digital Realty Trust Inc.は、データセンターを開発、運営する不動産投資信託（REIT）として、グローバルにおけるデータセンター業界のサステナビリティへの取り組みをリードするため、事業展開の強化とあわせて地球環境への貢献とお客様のニーズに応える努力を続けています。

本資金調達の充当先である「KIX12」は、エネルギー効率に優れたデータセンターであり、設計段階の省エネに関する取り組みとして、クールピットの利用、高効率なモジュールチラーの採用、壁吹き空調方式によるラック高密度化の実現、人感センサー制御による、照明エネルギーの削減等を採用しております。本資金調達は、十分な環境改善効果が見込まれ、且つ、環境・社会面における潜在的にネガティブな影響への配慮がなされているプロジェクトとして、第三者評価機関である株式会社格付投資情報センターより第三者意見書を取得しており、「グリーンボンド原則」に準拠していることを確認しております。

### <KIX12の概要>

所在地	大阪府箕面市
延床面積	18,334 m <sup>2</sup>
サーバー用電源容量	20MW
収納可能ラック	約 2,300 ラック
建物構造	地上 4 階、免震構造
設計 PUE	1.39



写真提供：MCDR

KIX12

株式会社三菱 UFJ フィナンシャル・グループは、「MUFG Way」の中で「世界が進むチカラになる。」を存在意義（パーパス）と定め、持続可能な環境・社会の実現に向けて、お客さまをはじめとする全てのステークホルダーの課題解決のための取り組みを進めています。引き続き、お客さま ESG の取り組みを支援し持続的な成長を後押しすることで、環境・社会課題の解決に貢献してまいります。

以 上

---

<sup>i</sup> 発行体は三菱商事株式会社及び Digital Realty Trust Inc.が出資するデジタル大阪 3 特定目的会社（以下、「TMK」）で、MCDR は TMK のアセットマネジメント業務を務めます